

ベッドコール・コードレス

T 説 H02-13

型式 BC-RN

取扱説明書

弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
 ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
 説明書は、必要な時にいつでも見られるよう、大切に保管してください。

目次

はじめに

使用上のご注意	1
免責事項	2
製品概要	3
製品内容と各部名称	3

使い方

標準設置方法	5
増設設置方法	7

お手入れ・その他

電池について	9
お手入れ方法	10
製品仕様	11
保証とアフターサービス	15



使用上のご注意（必ずお守りください。）

ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しております。次の内容をよくご理解の上、記載事項をお守りください。

表示の説明



注意

取扱いを誤った場合、人的または物的損害の恐れがある内容を表しています。

図記号の説明



禁止

してはいけないこと（禁止）を表します。

具体的な禁止内容は、図記号の近くに文章で表します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を表します。

具体的な指示内容は、図記号の近くに文章で表します。



注意

注意を表します。

具体的な注意内容は、図記号の近くに文章で表します。



注意



テストを行い、確実に動作する範囲を確認してご使用ください。

通達距離は建物の構造により異なります。約10mの通達距離は見通しの場合であり、鉄筋・鉄骨の建物で使用される場合、電波の通達距離が短くなります。



分解、改造はしないでください。

故障、怪我の原因となります。修理については最終ページをご覧ください。



無線中継ボックスは、金属類から離してご使用ください。

金属類（スチール製の机・鉄筋等）の近くでは電波の通達距離が短くなる可能性があります。



無線中継ボックスに水をかけないでください。

無線中継ボックスは防水・防滴構造ではありません。

内部に水が浸入すると、修理不可能となる恐れがあります。



本製品に付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。

付属の AC アダプタ以外のものを使用すると、破裂、火災に繋がる恐れがあります。

また、故障の原因となり、修理不可能となる恐れがあります。



コードレス・ベッドセンサーは水に浸けないでください。

コードレス・ベッドセンサーは防滴構造ですが、防水構造ではありません。
センサー内部に水が浸入すると、修理不可能となる恐れがあります。



コードレス・ベッドセンサーは強く折り曲げないでください。

折り曲げるとセンサー部分が破損し、修理不可能となる恐れがあります。
＊折り曲げ線では谷折りに折りたたむことができます。



コードレス・ベッドセンサーには絶対に傷を付けないでください。

切口から水などが入って絶縁不良を起こし、修理不可能となる恐れがあります。



コードレス・ベッドセンサーは 40℃以上の物と接触させないでください。

耐温度は約 40℃です。電気毛布等との併用も避けてください。



コードレス・ベッドセンサーの上には物を置かないでください。

物が乗っている場合、センサーが正しく動作しない可能性があります。



コードレス・ベッドセンサーに直接寝る事は避けてください。

必ずベッドパッドなどを被せてご使用ください。



無線中継ボックスの落下にご注意ください。

落下の衝撃で内部の電子部品が壊れ、修理不可能となる恐れがあります。

なお、上記の警告・注意事項を遵守しなかった場合での故障は、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご注意ください。

免責事項

- 本製品は離床報知器として使用するものであり、転倒・転落を直接的に防止するものではありません。
あくまで転倒・転落防止の補助手段として使用するものです。
万一発生した人身事故、災害事故等による損害については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 弊社の責任範囲外において発生した事故や、お客様の故意また過失、誤用など適正でない条件下での
ご使用により生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

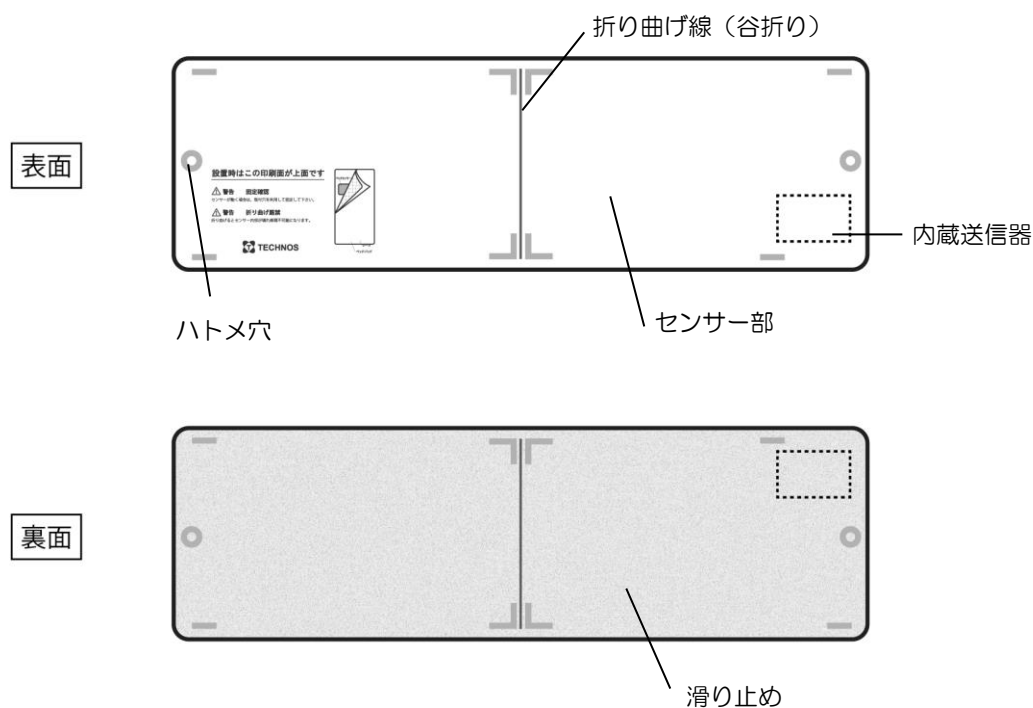
製品概要

「ベッドコール・コードレス」は、マットレス上に設置したコードレス・ベッドセンサーに荷重がかかり、荷重がなくなった時に、常設のナースコール設備を用いて報知する製品です。
センサーから無線中継ボックスまでの通達距離は、見通しで約 10m以内です。

製品内容と各部名称

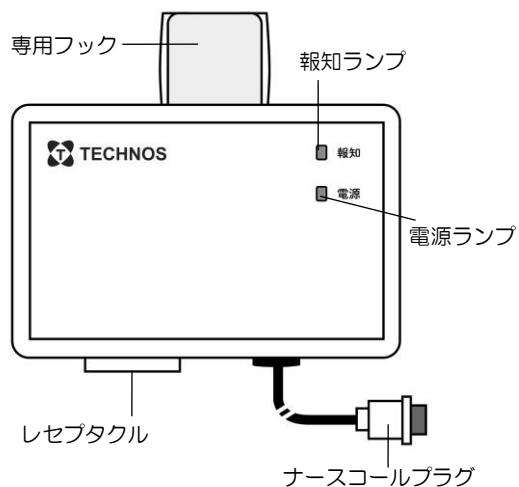
標準セットは以下の内容です。万が一不足品がありましたら、販売店までご連絡ください。

コードレス・ベッドセンサー

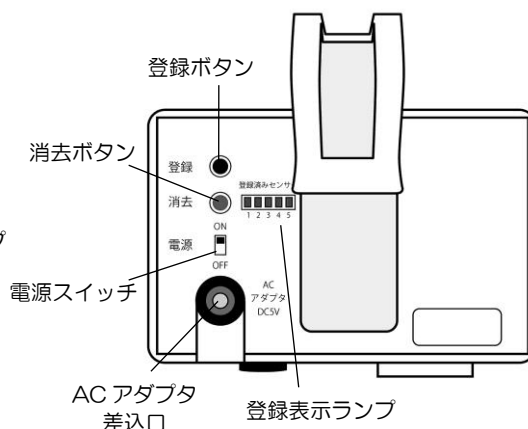


無線中継ボックス

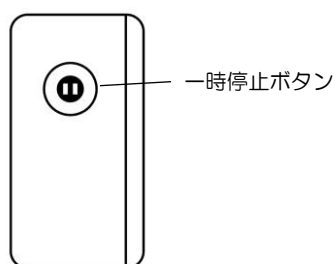
表 面



裏 面



側 面



一時停止ボタン

作動を約 5 分間停止し、その後、自動復旧します。停止中に再度押すと、さらに 5 分の停止が延長されます。停止をすぐに解除したい場合は、電源スイッチを一度 OFF にして、再度 ON にしてください。

＊一時停止中は電源ランプが点滅します。

AC アダプタ

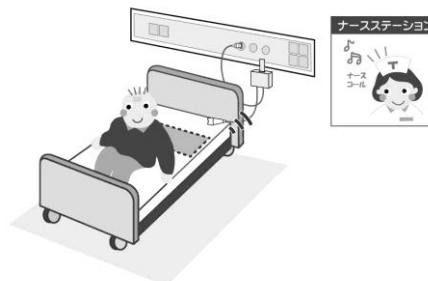


標準設置方法

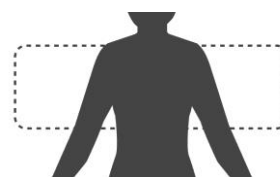
設置・接続

- ①ベッドセンサーは、注意書き印刷面を上面にして、マットレス上に横向きに設置し、シーツを被せてください。

*右図のように、対象者が寝ている際、常に荷重がかかる位置（肩や肩甲骨の下）に設置すると安定してお使いいただけます。



*滑りやすい素材のマットレスに設置する際は、センサー両端のハトメ 穴にひもなどを通して固定してください。



- ②無線中継ボックスを専用フックでパイプ等に取り付けてください。
- ③ナースコールスイッチを無線中継ボックスのレセプタクルに差込んでください。
- ④無線中継ボックスのナースコールプラグを壁面のナースコール端子に差込んでください。
- ⑤AC アダプタを無線中継ボックスの AC アダプタ差込口に差込んで、コンセントに接続してください。
- ⑥無線中継ボックスの電源スイッチを ON にしてください。
- *無線中継ボックス表面の電源ランプが点灯することを確認してください。

動作確認

実際に使用する状態で、センサーを作動させ、ナースコールで正しく報知することを必ず確認してください。

*内蔵送信器には、一度報知した後、次の報知までのインターバル（間隔）が設定されており、連続した送信を行いません。
複数回にわたり動作確認をする場合は、10 秒程度の間隔をおいて実施してください。

遅延時間設定

内蔵送信器の設定スイッチで遅延時間を 0.5、1.5、3 秒に設定することができます。

(0.5 秒設定では、0.5 秒以上上体を起こすと報知します。)

*製品出荷時は「1.5 秒」に設定しています。実情に合わせて設定を変更してください。

①設定スイッチを長押ししてください。

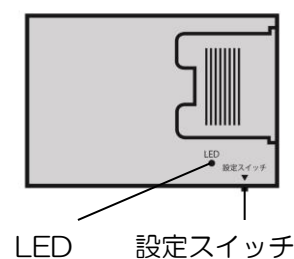
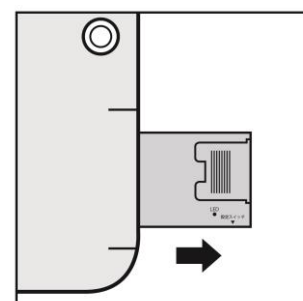
(LED が 1 秒点灯します)

②設定スイッチを押す毎に遅延時間が以下のように設定されます。

- LED が 1 回点滅・・・0.5 秒設定
- LED が 2 回点滅・・・1.5 秒設定
- LED が 3 回点滅・・・3 秒設定

③設定したい遅延時間で、設定スイッチを押すのを止め、少し待つと設定が完了します。(LED が 1 秒点灯します。)

*設定スイッチを押すと、LED の点滅回数で、設定した遅延時間を確認することができます。



増設設置方法

本製品は、コードレスセンサーを無線中継ボックスに最大 5 台まで登録し、増設することが可能です。

*以下、コードレス・ベッドセンサーなどの「無線中継ボックスに登録可能なコードレスセンサー（微弱無線タイプ）」を総称し、コードレスセンサーといいます。

登録

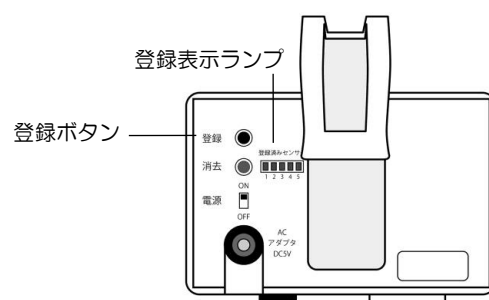
*セットでご購入の際は登録済みの為、この作業は不要です。

①無線中継ボックス裏面の「登録」ボタンを長押しします。

②全ての「登録表示ランプ」が点滅しますので、登録したいコードレスセンサーを作動させます。

③ピーッと音が鳴り「登録表示ランプ」が早点滅後に点灯すれば、登録完了です。

*ピピピピッと音が鳴り、全ての「登録表示ランプ」が点滅し続ける場合、そのコードレスセンサーは登録済みです。



消去

登録していたコードレスセンサーを使用しなくなった場合は、登録を消去してください。

一件消去（センサーの登録を1台ずつ消去）

①無線中継ボックス裏面の「消去」ボタンを長押しします。

②全ての「登録表示ランプ」が点滅しますので、登録を消去したいコードレスセンサーを作動させます。

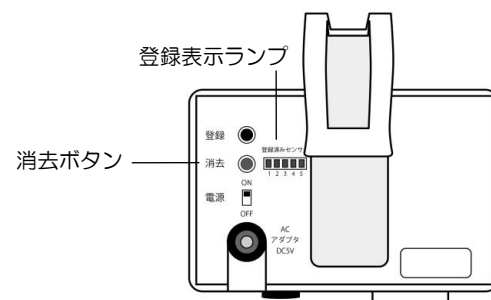
③該当の「登録表示ランプ」が点灯しますので、「消去」ボタンを押します。

*ピピピピッと音が鳴り、全ての「登録表示ランプ」が点滅し続ける場合、そのコードレスセンサーは登録されていません。

④ピーッと音が鳴り、該当の「登録表示ランプ」が早点滅後に消灯すれば、消去完了です。

全消去（センサーの登録を全て消去）

- ①無線中継ボックス裏面の「消去」ボタンを長押しします。
- ②全ての「登録表示ランプ」が点滅しますので、再度「消去」ボタンを長押しします。
- ③全ての「登録表示ランプ」が点灯しますので、さらに「消去」ボタンを押します。
- ④ピピッと音が鳴り、「登録表示ランプ」が消灯し、全消去完了です。



電池について

電池の寿命

- 内蔵微弱送信器・・・・・・・・・・1日5回の動作で約3年間
(1ヶ月に1回程度の動作テストをお奨めします。)

*内蔵送信器の電池が消耗すると、センサー作動時に無線中継ボックスからアラーム音が鳴り、報知ランプが点滅してお知らせしますので、速やかに電池交換を行ってください。

電池交換方法

お客様にて電池交換が可能です。以下の手順で電池を交換してください。

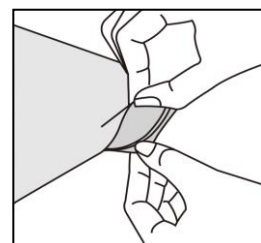
- ①センサーの送信器ポケットの開口部を開きます。

*チャックになっていますのでゆっくりと開いてください。

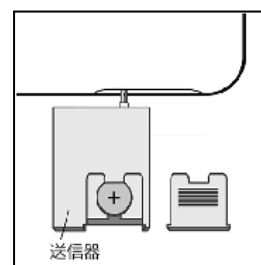
- ②ポケットから送信器を引き出します。

*強く引き出さず、ゆっくりとイラストの位置まで引き出してください。

*送信器をに繋いであるコードを外す必要はありません。



- ③送信器の電池フタをスライドして開けてください。

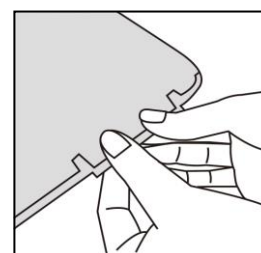


- ④電池を取外してください。

- ⑤プラス・マイナスの向きを確認し、新しい電池（3V ボタン電池(CR2032)）を入れてください。

- ⑥電池フタを閉じて送信器をポケット内に収納し、チャックを閉じてください。

*故障を防ぐため、確実に閉じてください。



*電池交換が必要なセンサーを弊社に送付いただいた場合、有償で交換いたします。

お手入れ方法

コードレス・ベッドセンサー



水厳禁

ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを取り、付着した洗剤は拭き残しがないようにしっかりと拭き取って、十分に乾かしてください。

防水構造ではありませんので水に浸けたり水をかけることは避けてください。

無線中継ボックス



水厳禁

ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固くしぼった布で汚れを取り、付着した洗剤は拭き残しがないようにしっかりと拭き取って、十分に乾かしてください。

アルコールタオルも使用できますが、強くこすらないようにしてください。

防水・防滴構造ではありませんので、洗剤を直接吹き付けたり水をかけたりしないでください。

製品仕様

コードレス・ベッドセンサー

型式	BSR-1	材質	PVC
サイズ	800×250×6mm	色	アイボリー
重量	約1800g		

内蔵微弱送信器

型式	HTB1-10BD	周波数	314MHz
サイズ	60×44×8mm	送信出力	微弱電波
重量	約15g	通達距離	約10m
電源	3Vボタン電池	動作遅延設定	0.5、1.5、3秒

無線中継ボックス

型式	HCBR-3	電源	AC100V(ACアダプタ付)
サイズ	90×56×30mm	消費電力	0.5W
ケーブル長	約1.2m(専用プラグ付)	一時停止	一時停止ボタン：5 分間作動停止 (自動復旧) 一時停止リモコン (ポーズリモコン) 対応
重量	約220g		
色	グレー		
材質	ABS樹脂		

MEMO

MEMO

MEMO

保証とアフターサービス

品質保証書

この製品は厳しい管理のもとに製造されたテクノスジャパンの製品であることを証明いたします。

ご不明な点、修理に関するご相談

お買い求めいただきました販売店、または下記にご連絡ください。

株式会社テクノスジャパン

お客様相談室

フリーダイヤル 0120-230-580

(受付時間：祝日を除く月～金曜日 9:00～12:00, 13:00～18:00)

〒670-0947 兵庫県姫路市北条978

TEL (079)-288-1600 FAX (079)-288-0969

URL <http://www.technosjapan.jp>

保証書

品 名	ベッドコール・コードレス		
製造番号	コードレス・ベッドセンサー	無線中継ボックス	
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	住所	販売店	住所
	お名前		お名前
	ご連絡先		ご連絡先
			印

保証規定

- 保証期間はお買い上げ日より1年です。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間内でおお客様の正常なご使用状態において、不具合が発生した場合は無償にて修理させていただきますので、お買い上げ販売店又は当社に本保証書を添えてご送付ください。
- 本保証は、当該製品のみへの保証を意味し、製品の故障や不具合によって生じたその他の損害については、保証対象に含みません。
- 次の場合は、保証期間内でも有償修理となります。
 - 保証書がない場合。
 - 保証書にお買い上げ日及び販売店の記載がない場合。
 - お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障、不具合の場合。
 - お客様による使用上の誤り、または改造や修理による故障、不具合の場合。
 - 天災・災害・暴動など外部要因に起因する場合。